

省エネ生活の知恵袋

(節約金額・CO₂削減量出典…
省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」)



省エネ性能の高い機器への買い換え

家電製品などの技術革新に伴い、省エネ性能は日々進化を遂げています。省エネラベルなどを参考に買い換えましょう。



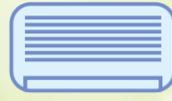
冷蔵庫

周囲の温度22℃の場合、設定温度を「強」から「中」にすると、年間約1,360円の節約、CO₂は23kgの削減に。



テレビ

見ていないときは消しましょう。年間約1,640円の節約、CO₂は27.8kgの削減に。(プラズマテレビの場合)



エアコン

冷房は必要なときにだけつけるようにしましょう。設定温度28℃で1日1時間短縮すると、年間約410円の節約、CO₂は7kgの削減に。



照明機器

54Wの白熱電球から12Wの電球形蛍光灯に交換すると、年間約1,850円の節約、CO₂削減量は31.3kg。



エコドライブ

エコドライブは燃費を大きく向上させます。スタート時のアクセルをふんわり踏み込む、加減速を少なくするなど、積極的に取り組みましょう。

エコで花も笑顔 アジサイまつり開催

6月に見ごろを迎えるアジサイ。荻窪公園ふれあいゾーン西地区で「荻窪公園アジサイまつり」を開催します。エコグッズが当たる抽選会、アジサイの苗木無料配布なども行います。イベントに参加して、環境について考えてみませんか。

日時＝6月19日(土)午前10時～午後4時

会場＝荻窪公園(荻窪町)

問い合わせは 環境課 ☎898-6292

イベントスケジュール(雨天の場合は一部変更になります)

午前10時	アジサイ遊覧会(スタンプラリー) ※スタンプ3個以上押すと先着200人に記念品贈呈。
午後0時30分	「アジサイ苗木無料配布」整理券配布(先着150人)
午後1時	記念式典
午後2時	アジサイ苗木無料配布
午後3時	エコグッズ抽選会 ※スタンプラリーの制覇(スタンプ4個)で参加できます。

そのほか、電気自動車の試乗やソーラーカー工作などを実施します。



6月1日から水道週間 見つめてみよう大切な水

問い合わせは 水道局総務課 ☎898-3012

■水漏れをチェック

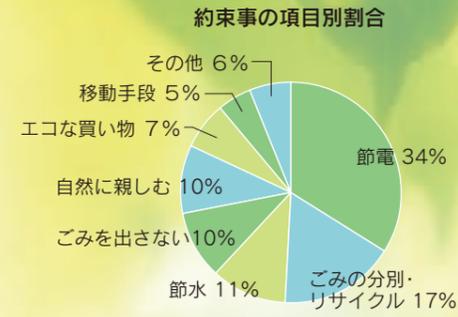
家にある蛇口をすべて閉じてから水道メーターを確認してください。銀色のパイロットマークが少しでも回っていれば漏水しています。早めに水道局指定の工事店に修理を依頼しましょう。

6月1日(火)から7日(月)までは水道週間です。ことしの全国統一標語は「水道に 寄せる信頼 飲む安全」。生活の一部として、当たり前のように使われている水道。暮らしに欠かせない水道の重要性を、この機会に一度考えてみませんか。

みんなの1歩が地球を救う 進めようエコ生活

問い合わせは 環境課 ☎898-6292

6月は環境月間。6月5日(土)は環境の日です。地球温暖化をはじめとした環境問題には、生活で排出された二酸化炭素などの温室効果ガスが影響しています。あなたが住むこのまちの環境を、子どもや孫、その先の代へいつまでも受け継ぐために、日ごろのライフスタイルを見直し、環境に優しい生活を心掛けましょう。

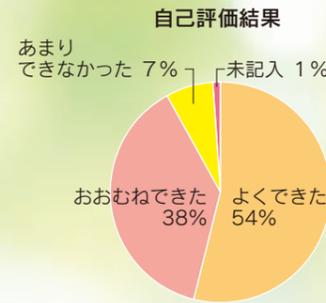


電気やガソリンなどを節約することは、環境にも家計にもやさしい取り組みです。また、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など自然環境から取り出すエネルギーを活用すれば、化石燃料などの使用を抑え、温室効果ガスの排出を抑制できます。

省エネ生活と自然エネルギーの積極的活用で、環境のことを考えていきましょう。

■広がる「まえばし環境家族」
昨年6月からことし1月まで、市民の皆さんが環境問題を考える行動・実行するきっかけとして、市立小中学校の子どもがいる家庭を対象に「まえばし環境家族」事業を実施しました。子どもたちが家族と約束事を決め、協定書を作成。市長が「まえばし環境家族」として認定しました。

認定家族数は4,830件。そのうち、家族で取り組み結果を評価した自己評価票の提出があったのは2,549件。全5,724件の約束事を8項目に分類し、その項目ごとに集計を行いました。集計結果は左図のとおり。



また、全体の自己評価結果では「よくできた」と「おおむねできた」が92%と高く、環境やエコへの高い意識・関心を持ち、家族で協力して取り組んでいることが分かりました。また、「家族で話し合うきっかけになった」

この事業は本年度も引き続き実施予定です。ぜひ参加して、環境のためにできることから始めましょう。

■循環型社会へ
本市では、「まえばし環境家族」事業のほかに、自然エネルギーの活用に向けてさまざまな取り組みを進めています。日照時間が長い本市の特性を生かした太陽光発電や、エネルギー効率の

小水力発電の候補地情報を



本年度は、小水力発電に利用できる水資源の賦存量(エネルギーの潜在的な存在量)を調べます。皆さんの地域に流れる水路などで、「この場所で発電ができるのではないかと」思われる場所を教えてください。発電できる目安は以下のとおりです。詳しくは、本市ホームページをご覧ください。

- ①幅2m以上、地面から河床までの深さが2m以上あり、ある程度(50cm以上)の落差(堰など)があること。
- ②年間を通じて一定量の水が流れている。
- ③100m以内に、防犯灯などの電力を利用する公共設備がある。

※危険ですので、決して河川には立ち入らないでください。

た、「家族全員で協力することが効果的」など、たくさんのご感想や意見がありました。

この事業は本年度も引き続き実施予定です。ぜひ参加して、環境のためにできることから始めましょう。

また、公共施設の省エネルギー化、市内の豊富な水が持つエネルギーの可能性を検証するため、馬場川の小水力発電実証実験、家畜排せつ物や食品廃棄物などの生物由来のバイオマス資源を生かしたバイオマスタウン構想の策定など、環境への負荷の少ない循環型社会の形成を目指しています。